

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成 30 年 12 月号

編 集 武田 隆久  
発 行 人〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15  
一般社団法人 日本病院会 通信教育課  
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)  
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)  
URL <http://www.jha-e.com/>受付時間 9:00~17:00  
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)発 行 日 毎月 1 日  
定 価 1 部 150 円 1 カ年 1,600 円(税込・送料込)  
郵便振替 00190-5-396045

名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

## 日本診療情報管理学会入会の勧誘を

末永 裕之

日本診療情報管理学会 理事長  
小牧市民病院 病院事業管理者

第 44 回日本診療情報管理学会学術大会が 9 月 20、21 日の 2 日間、山本正治学術大会長の下、朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)で開催された。交通の便がやや悪く心配されたが全国から 1,573 名の参加者が集い、開会式から閉会式に至るまで大盛況であった。会場に入りきれないセッションもあり、どのシンポジウム、ワークショップでも熱心な議論が行われた。また若い世代の参加者が多かったのも今後の診療情報管理学会を考える上で心強いことであった。

山本大会長をはじめとする新潟医療福祉大学の皆様、岡部正明副大会長はじめ新潟県支部の皆様には感謝を申し上げます。

今回の学術大会は主催が初めて教育機関であったために教育的側面を考慮され、メインテーマは「診療情報管理の教育と研究—医療の質と安全を高めるために—」として、学術大会長講演では演題名を「将来を生き抜く診療情報管理士の育成を目指し—学長の思い—」、理事長講演は「拡大する診療情報管理士の役割」として講演した。

AI が進めば銀行の窓口業務は無くなる職種と言われているが、医療界では診療情報管理士の仕事は AI にとって代わるのではないとも言われている。確かにオートコーディングとなる時代が来ることも想像されるが、診療情報管理士の役割、仕事は現在でもコーディング以外にも格段に広がってきている。AI に任せてそれを利用していく部分と、それ以外でさらに拡大する役割がこれから今以上に出てくるものと思われる。

診療情報管理士には現在行っている仕事をさらに深化、精緻化すると同時に、それぞれの職場のなかで、診療情報管理士であるからこそできる仕事を少しずつ広げていって頂きたい。学術大会に参加するとそれぞれの現場で試みしてみるヒントを見つけられることも多い。

学術大会では診療情報管理士の最近の動向、知見に接することができるが、出席するのは主に診療情報管理学会員の 5,156 人が対象である。診療情報管理士としての認定者は約 35,000 人おり、現在診療情報管理士として働いていない人、退職した人がいるにしても多くの認定者が学術大会に参加せず、また生涯教育を受けていないことになる。学会には学会員の質の保障を担保する役割もある。

診療情報管理士の地位向上のためには、さらに診療情報管理学会への入会者を増やし、診療情報管理士全体のレベルアップを目指す必要がある。身近にいる学会未加入の診療情報管理士に入会を勧めて頂き、学会員が増えて学会が活性化されることを期待している。また、新たに診療情報管理士に認定される方には、ぜひ日本診療情報管理学会に入会して頂きたい。